




平成30年 1月10日

各報道機関支局長 様

富士宮市長

(件名)	(担当)
<p>「ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業費補助金(県)」を活用した事業の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンわくわくアップ事業 ・たすき帖配布拡充事業 ・保育園ワンダフルアップ事業 	<p>保健福祉部子ども未来課 子育て支援係</p> <p>担当氏名 佐々木 明美</p> <p>電話 0544-2 2-1 1 4 6</p> <p>内線 2 1 7 5</p>
セールスポイント	県の事業採択を受け、今年度3つの事業を追加して実施します。
<p>(要旨)</p> <p>富士宮市では、平成29年度内に、県の「ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業費補助金」を活用し、「子育てサロンわくわくアップ事業」「たすき帖配布拡充事業」「保育園ワンダフルアップ事業」の3つの事業を追加して実施します。</p> <p>「子育てサロンわくわくアップ事業」</p> <p>現在、社会福祉協議会に補助金を交付し、子育ての相談や親子のふれあいを行うことができる拠点として、市内に18箇所の「子育てサロン」を開設・運営していただいております。</p> <p>この「子育てサロン」は、地域のボランティアによって運営されており、開設場所は身近な公民館や区民館等で開設されていますが、各サロンで使用されているおもちゃ・備品は有志の方からの寄付で貰い受けているものが多く、なかなか新しいおもちゃ等を購入することができない現状です。</p> <p>(幼児用のおもちゃ・備品等は高額なものが多いため。)</p> <p>そこで、環境を整備するための補助金を交付することにより、さらなる利用者の増加を図り、少子化対策につなげていくことを目的としこの事業を実施します。</p> <p>事業費は、126万円(1サロン=7万円を上限)です。(うち県補助金63万円)</p>	
 裏面に続く	

「たすき帖配布拡充事業」

昨年度から、子ども未来課の窓口で、市の子宝祝い品として出生児に配布している「たすき帖」の配布対象を0歳児から3歳児（平成29年度時点）に拡大するものです。

「たすき帖」はそれぞれの家族が子どもが成人するまでの成長記録と、そのときどきの親の想い、子どもに伝えたいメッセージを記録するためのノートです。このデジタル化の時代に、あえて自筆のメッセージを残す（贈る）ことにより、親と子どもをつなぐ「たすき」として、「家族の絆」を深めてもらうことを目的としています。（その子が成人した時に、成人式に渡す仕様となっています。）「たすき帖」の配布対象を3歳児までに拡大することで、より多くの市民に家族の素晴らしさを実感してもらうことにより出生意欲を高めるとともに「家族の絆力」を高めることを目的としています。

事業費は、165万円です。（うち県補助金82万5千円）

「保育園ワンダフルアップ事業」

核家族、共働きやひとり親世帯が増加している中で、子育てに悩む家庭等に対する相談事業を充実させることは、子育てに対する安心感を増大させるために重要なことと考えております。

現在、公立保育園には乳児が利用できる遊具がないため、新しく乳児から使用できる遊具を設置し、園庭開放を進め、子どもを遊ばせながら育児相談に対応することで、公立保育園が園児を預けるだけの場所ではなく、育児相談等ができる場所であると認識してもらうことを目的とします。

今年度は、地域子育て支援センターを併設している保育園の1つである、西保育園に乳児用遊具を1基設置いたします。

事業費は180万円です。（うち県補助金90万円）

※「ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業費補助金」とは、地域の特性に応じた効果的な少子化対策事業に取り組む市町を支援し、県民の2人から3人の子どもを持ちたいという希望が叶えられる環境づくりに取り組む市町に対し、交付される補助金です。

補助率は1/2です。

（添付資料）

なし